

三心を磨く

学校だより No. 3

令和7年6月6日(金)発行

須坂市立東中学校

文責：(教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

校長講話 生徒会スローガンに寄せて

みなさんおはようございます。一昨日土曜日の朝7:30~8:30、学校でPTA作業がありました。お父さん、お母さんと先生たちで、学校花壇のマルチシートを設置したり、校庭やプール周辺の落ち葉掃き、プールの清掃をやりました。みなさんが、気持ちよく過ごせるように、水泳の授業を整ったプールでできるようにとやりました。お父さんやお母さんがPTA作業に参加したお家の生徒は、今日家に帰ったら「ありがとう」や「綺麗になっていて嬉しい」と一言、伝えてください。きっとお父さんやお母さんは、その言葉を聞くだけで「喜んでくれてよかった、ありがたい」と思ってくれて、大変だったけどやってよかったな」と思ってくださると思います。

さて、今日は、生徒会のことと、この東中学校のことについて話をします。さて生徒会スローガンはなんでしょう? 「挑戦 共につながる絆」です。



生徒会の対面式での様子です。1年生代表の さんが自分で考えてきた言葉を一生懸命伝えています。ここに写っているみなさんの話の聞き方がすごいと思います。目でも心でも聞いている。

話は、言葉だけがみなさんに伝わっていくわけではありません。その人が話す様子、声の感じ、そこに流れる空気、そういったもの

全てが後藤さんの大切なメッセージだったと思います。後藤さんが皆さんに向かって伝える、これは後藤さんの分、つまり半分です。この女子のように、2・3年生のみなさんが、耳を傾けて、後藤さんの言葉をしっかり受けとめてくれたこと、つまりそれは、みなさん一人ひとりが自分の半分と結んでくれたので、ここに絆が生まれたんです。自分の半分と、相手の半分とつながって絆になっていく。

生徒会スローガン 「挑戦 ～共につながる絆～」

挑戦とは、自分が具体的に動くこと。「失敗したらどうしよう」「変に思われたらどうしよう」動き出す前はみんなそう思います。でも、勇気をもって動き出そう。そして友だちが勇気をもって動いたこと、その半분을しっかり受けとめ、自分からつながる人になろう。そして失敗を許してあげられる人になろう。自分の失敗も人の失敗も。絆は、人と人が「相手の半분을自分の半分と結ぶ出来事」であるし、積み重なれば積み重なるほど、絆は深くなっていくのだと思います。

さて、話は変わり、東中のことを少し話します。この東中にとって令和9年は特別な年です。知っていますか。令和9年に70歳を迎えます。この創立70周年を、お父さんやお母さん、もうこの学校に子どもはいないけどかつて保護者だった方、東中に思い出のある方々など、みなさんがお祝いしたいと思っています。

この東中学校は、地域の中で歴史を刻み、地域の中に、地域の人たちの心の中に存在しています。東中学校を地域に開き、地域と共にある学校として、みなさんで70歳をお祝いしたいと思っています。誰とどのようにつながりチャンスがあるのか、授業や生徒会、学校生活の様々な場面でみなさんも一緒に考えてくれたら嬉しいです。

校長先生と人権について考える ～前期人権教育月間～



中学生が描いた、ある人権ポスターにこう書いてありました。「人権は空気」空気って見える？空気がなかったらどうなる？空気って見えないから、空気があることを確認できないけど、なくなったら…私たちは生きることができませんよね。この中学生は、人権は空気と同じだ、と訴えたかったんですね。

「人権」とは「人間として、誰もが生まれながらにもつ、基本的人権であり、誰からも侵されることのない権利」です。具体的には、権利として守られるべきことが、いくつもあります。その中の2つ挙げてみました。

○個人の尊厳と自由

人は誰でも、生まれながらに尊厳をもち、自由に行動し、表現し、選択できる権利があります。

○差別と偏見の禁止

人種、性別、宗教、障害、国籍など、あらゆる理由による差別や偏見は許されません。

人権として守られるべきことは他にもあるので、調べてみましょう。

さて、今月は「人権同和教育月間」です。前期の目標は次の三つです。

- 1 身近な、生活の中に、差別や偏見がないかを、見つめなおそう。
- 2 人権について正しく理解し、「違い」を認められる人になろう。
- 3 自分の心の中にある「弱さ」に負けず、正しく行動できる人になろう。

つまり、この月間の中で、東中学校の生徒全員が、学校で、自分らしく生活できるように、自分の言動、今の学級の様子について、「差別や偏見を許さない」という厳しい目で見つめ直し、新しくスタートするということです。では、「差別や偏見を許さない」という視点で生活を見つめ直すことについてみなさんで少し考えてみましょう。

次の事例は、他人の人権を侵害しているとするのとどのようなことですか。みんなで、考えてみましょう。

(1) 中3の数学の教室です。練習問題を解いているとき、Aさんは3問中2問、間違えてしまいました。隣のBさんがAさんのノートをのぞき込んで、次のように言いました。

「これ中1の勉強じゃん。中1からやり直した方がいいんじゃない？」
この言葉にAさんは傷つきました。一方Bさんは、何気に言っただけのようで、まさかAさんが傷ついているとは思ってもいない様子です。
何が問題だと思いますか。



(2) Aさんが、Bさんとすれ違う時に、肩が当たってしまいました。Aさんが気付いていないのか、何も言わず通り過ぎていきました。少し腹を立てたBさんは、Aさんのいないところで、友達Cさんに次のように言いました。



「Aさん、さっきぶつかってきてさあ、なのに一言もないんだよね。ひどくない？」するとCさんはそれを聞いて「最悪だな」と返しました。まずいな、と思う点はどこですか。

(3) Aさんの学級のBさんとCさんはとても仲が良い2人です。
教室の中で、2人だけの会話を大きな声でしています。
Aさんは、聞きたいわけではないけれど、話の内容が
耳に入ってきてしまいます。これはどうでしょうか。



<校長先生からの問いについて考える生徒たちの様子>

- (1)「強い口調で、やり直せば！というのはよくないと思う」
- (2)「Aさんが気づいてなくて言わなかったのなら、Bさんが先に謝ればよかったのでは…」
- (3)「問題なのは、声での大きさだと思う。」「聞きたくないことを聞かなければいけない」



このように、身近に、自分の行動や発言の中に、他人の人権を大切にしないものがあるかもしれません。自分では、「まさか相手がそんな風に思っているなんて」とか、「そんなつもりじゃなかったのに」といった、気軽に、何気ない言動のつもりでも、実はそういったことの中にあるのかもしれない。だから、厳しく振り返ってみるのです。

誰一人傷ついていい人はいませんし、誰一人他人を傷つけても許されるという人はいません。

人権について正しく学び、自分の人権も友達の人権も大切にできる行動について考えてみましょう。常に、自分の発言や行動、自分の視点からだけでなく、相手の人の視点からみたらどう受け止められるのだろうか、と想像することが大切です。

最後にひとつ、詩を読みます。



PTA 通信

令和7年度 PTA 会長より

日頃よりPTA活動への多大なるご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。本年度PTA会長を賜りました佐藤と申します。なにぶん不慣れなことばかりで、ご迷惑・ご苦勞おかけすることあるかと思いますが、少しでも子どもたちのためになるPTA活動になればと思っています一年宜しくお願いいたします。

先日行われたPTA作業、天候が心配される中でしたが無事終わることが出来ました。お忙しい中、ご都合をつけて多くの方に参加して頂き、本当にありがとうございました。9/20にも予定しておりますので、宜しくお願いいたします。

4月のPTA総会でも触れさせて頂きましたが、今年度のPTA活動で検討・改善していきたい活動や、例年にない活動をこの場をお借りしてご報告させていただきます。



PTA三役の皆さま

○学年代表部・教養部の再編

生徒数減少に伴い、部員構成の再編を考えています。

○令和9年度の創立70周年記念事業の準備

○10月に長野市で開催される、全日本PTA連合会関東ブロック大会の宣伝及び参加

生徒数減少や須坂学園構想など、変化の波が迫っています。その中で何が出来るのか、何が子どもたち・学校の為になるのか、一緒に考えていけたらと思っています。

ご意見や要望など遠慮なくお伝え頂けると嬉しいです。みんなで作っていくPTA活動にしていきたいと願っていますので、ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

<学校保健委員会 兼 PTA 講演会の感想>

◇多様性が求められる時代なので、子どもたちが将来困ったことがあったとき、思い出してくれるといいなと思いました。(教養部)

<人権研修会に参加して>

◇部落差別などは最近の話ではなかなかないのかなあと思っていましたが差別対象と決めつけられた時の傷は時間が経っても消えることがないと改めて気付かされました。とても、良い講座でした。(教養部)

◆6月資源回収のお知らせ

*期間 6月16日(月)～21日(土) 回収物 新聞・雑誌・ダンボール・牛乳パック

◆6月20日は参観日です

*授業は1校時～5校時まで、ご自由にご参観いただけます。

*学年・学級PTA 15:20～16:10

*校外生活指導部 16:20～16:40

*PTA理事会 16:50～17:20 *皆さまのご来校をお待ちしております。



共につながる絆

よりよい学校生活にするために、3年生を支え、協力しようと挑戦する後輩たちの姿が、まぶしい。



<5月30日壮行会>

2年生が中心になり大応援団を結成。凛々しい選手の皆さん。

美術部のステージバックにも力をもらいました。

「ラフレ!ラフレ!」 力を出し切り、悔いのない試合を!

<6月2日プール清掃>

1年生が中心になり、寒いなかでのプール清掃。天気が悪く

2日間の予定を1日に縮め半分の時間で2倍以上働きました。

みんなのためにありがとう。とてもきれいになりました。